

会 議 録

会議の名称	中学校再編に係る地域説明会（迫地域）	
開催日時	令和4年10月28日（金）	
	午後7時00分開会	
	午後8時00分閉会	
開催場所	迫公民館 軽運動場	
事務局（教育委員会）氏名	教育長	小野寺 文晃
	教育部長	小林 和仁
	次長兼教育総務課長	菅原 正博
	次長兼学校教育管理監	飯川 弘芳
	学校再編推進室長	白岩 登世司
	学校再編推進室長補佐兼学校再編推進係長	千葉 道宏
	学校再編推進室 主査	西條 文武
	学校再編推進室 主事	佐藤 春香
参加者数	18人	
事務局	開会 午後7時00分	
教育長	挨拶	
事務局	配布資料に基づき「中学校再編の考え方及び今後の進め方」、「中学校再編準備委員会の設置」について説明	
事務局	意見交換・質疑応答	
参加者	学校の再編は、人口が減ってきているので問題ないと思う。資料2の2ページ目、再編の方針の中で、統合による学年単学級の解消が必要と考えられるとあるが、単学級だと何がダメなのか。	
事務局	<p>クラス替えができないという部分、例えば、児童生徒間でトラブルが起きるとずっと影響が残ったり、競い合う友達がいないため、学習意欲や競争心が芽生えにくかったりすることがあげられる。</p> <p>また、特に中学校では部活動で、種目に制限が生じるということがあるので、基本的には2クラス以上を確保するため、このような提示をした。</p>	
参加者	<p>単学級だといじめが多くて、トラブルが解消されない、複数学級だとそういったことが解消されるという事例はあるのか。</p> <p>それから部活動に関しても、現在、野球であればシニアだったり、サッカーであればクラブチームだったり、部活動はずいぶん変わってきている。部活が編成できないということは、それほど問題なのか。</p>	
事務局	<p>トラブルの部分について、発生した場合に、どうしてもずっと同じ人間関係で数年間過ごさなくてはならないので、改善が難しくなることもある。</p> <p>また、部活動については、現在も合同チームなどで参加しているところもあるので、そういった部分の解消を図るというものである。</p>	
参加者	新田の学校運営協議会に参加しているが、いじめの件数は相当少ないと思	

事務局	<p>っている。なぜダメなのかというところが分かりにくい。いじめは逆に生徒数が多いほど多いと感じるがどうなのか。</p> <p>いじめの話もあるが、例えば友達の間で関係がギクシャクした場合、小学校だと6年間、中学校だと3年間、最大で9年間も対人関係が良くないまま同じクラスで過ごす時間が多くなってしまふ。</p> <p>複数のクラスがあれば、若干距離をとりながら学校生活を送れるというメリットはあり、またある程度の人数がいた中で、いろいろな人と話したり、協議したりする経験を積みながら育ててほしいということで生徒数は必要だと考えている。</p>
参加者	<p>これまでの小学校の状況、中学校の状況、これまでの地域説明会などを経て、現状どうなっているのか。</p> <p>また、平成31年に策定された再編構想、そして今年の4月には、中学校の部分を改定したということだが、どのように改定されたのか。今日の説明は、改定された内容だが、改定前の中学校の部分はどのように改定されたのか。</p>
事務局	<p>中学校の再編については、先々週から各町域を回って説明会を行っており、これから取り組みを始めるということになる。現在は、小学校の統合を進めている。小学校については、再編の前期計画で、津山と東和と米山と南方の4地域において検討を進めている。</p> <p>津山地域については、柳津小学校と横山小学校を統合し、新たに津山小学校として来年の令和5年4月に開校する。</p> <p>東和地域については、米谷小学校と錦織小学校と米川小学校の3校を統合し、東和中学校を統合校舎とし、令和7年度の開校予定で取り組んでいる。</p> <p>米山地域については、中津山小学校、米岡小学校、米山東小学校の3校を統合し、令和8年度の開校予定で進んでいる。</p> <p>南方地域については、南方小学校、西郷小学校、東郷小学校の3校の統合で確認し、現在統合校の位置について検討している。</p> <p>また、迫地域と中田地域は、小学校について来年度から再編準備委員会を設置し統合に向けて協議検討していきたいと考えている。</p> <p>なお、小学校については、町域ごとの学校再編を基本としており、町域に1校となっている登米、豊里、石越の3地域は、当面の間そのままとなる。</p> <p>中学校の再編説明会は、10月11日から各町域1カ所で開催している。説明会での質問では、4つの区域分けの考え方、スクールバスの運行、学校施設の老朽化などについて意見をいただいている。令和4年の再編構想の改定は、これまでは中学校の再編の具体的な考えは盛り込まれていなかったもので、4つの区域分けを示した中学校の具体的な部分を、今回、初めて盛り込んだものである。</p>
参加者	<p>中学校の再編の考え方はない中で、これまで保護者の意見交換会や地域住民の座談会などを開催していたわけか。平成29年も、本日と同じようなかたちで、保護者や地域住民に説明したのか。</p>
事務局	<p>小中学校の再編が必要だという趣旨を説明している。実施の順については、小学校を優先し、小学校への説明を平成29年にしている。</p> <p>その時点では、中学校の再編の必要性はあったものの、具体的な案は示してい</p>

	<p>ない。平成31年に策定した構想については、小学校部分の具体化を中心に記載していたので、中学校の具体案については、今年4月に改定し、今回初めて説明会を行っているという状況である。</p>
参加者	<p>豊里で小中一貫を始めてから、ずいぶん期間が経っている。資料4ページに、小中一貫校をしている学校については、成果や課題を検証した上でとあるが、これまで検証していないということか。</p>
事務局	<p>豊里の小中一貫教育については、年度ごとに、課題や成果などといったところを検証している。現在、中学校の再編統合に関するという意味では、長期間にわたった総合的な成果や課題の検証を行っている最中である。</p>
参加者	<p>相当前から検討しているのではないかと。8年だと、だいぶ年数が経つような気がする。これから、さらに少子高齢化が進むと思うので、小学校、中学校だけで検討していいのか。詳しく検証してほしい。</p>
事務局	<p>意見のとおりのことを考えている。これまでの取り組みの中で得られた成果は間違いなくあり、目標としていたところまで達していない部分もあると考えている。今後、十分に検証していきたい。</p>
参加者	<p>通学に関して、スクールバスで概ね1時間以内となる場合、登校時間が8時10分までと決まっていると、7時10分には家を出なくてはならない子どもも出てくる。登校時間など、その制度といったものも変更を検討しているのか。</p>
事務局	<p>国で示す基準で、中学校で6km以内、またはスクールバスを活用した場合に概ね1時間以内と示されている。しかし、遠くなる場所もあり、時間も考慮する必要がある。</p>
参加者	<p>中学校になると、部活動は全員入ることにはなっているが、すぐに下校する子どももいる。その対応については、スクールバスは本数を複数出すという前提か。</p>
事務局	<p>下校は、部活動の種目によって違うものと想定している。運行の基準を決めて、部活動に配慮した運行を検討していきたい。</p>
参加者	<p>スクールバスの運行によって、部活動の時間を制限すると、せっかくチームを組んだのに、頑張りたいのに制約されるので、その対応も検討してほしい。</p>
事務局	<p>教育委員会だけでなく、開校準備委員会の中で、専門部会というものを設置し、教員やPTAの方々から意見をいただきながら、市全体での一定の基準も踏まえて検討していきたい。</p>
参加者	<p>登校について、新田小学校でもスクールバスを運行している。早い便は7時15分、遅い便は7時35分と、前期後期で半々に分けて運行している。</p> <p>できれば、スクールバスの本数を増やすとか、子どもに負担をかけないようにしてほしい。もしくは、予算が厳しいのは承知だが、新校舎の場所もそういったことを踏まえて検討してほしい。</p>

事務局	子どもたちに負担をかけないように検討していきたい。
参加者	皆さんの意見としては、子どもに負担をかけさせたくないということが総意だと思うので、スクールバスを1台のみで運行するとか、そういうことはやめてほしい。
事務局	スクールバスの運行を委託する会社の状況も関係するが、皆さんから意見をいただき、調整しながら進めていきたい。
参加者	中学生になると自転車で登校する子どもがいるが、大雨が降ったり、雪が降ったりすると、自転車で登校させるのは無理がある。そういうときに限り、スクールバスを利用することはできるか。
事務局	スクールバスの利用は、雨などにかかわらず基準を設けて、乗車人数から運行している。雨や雪が降った日だけというのは難しいし、想定していない。
参加者	4 km以上というように子どもの負担になるような制限をかけず、雨や雪はだめということにしないで、余裕を持ったスクールバスの運行をしてくれないのか。ぎちぎちに基準を決めるのではなく、全員が乗れるように本数を増やすなどの対応をしてほしい。
事務局	中学校については、遠くても自転車で通っている状況だが、中学校を統合することで通学距離が遠くなる子どもも多くなると考えている。地域によって条件が変わるので、教育委員会でもしっかりと検討したい。
参加者	学校再編準備委員会の委員の構成について、資料にある団体の代表者で構成するというのか。
事務局	代表者ということで、必ずしも会長ではなくてもよい。学校によっては、PTAの副会長や顧問などが委員になっているところもある。
参加者	中学校について、部活動の地域移行という話がある。再編準備委員会に、スポーツ少年団やクラブチームの代表者も加えられないか。
事務局	スポーツ庁から、来年から3年かけて土日の部活動を地域移行に移行する考え方が示されている。具体的にはまだ説明はないが、そのような方向になっていくと考える。そうすると、今ここに示した構成以外にも、いろいろな意見を聞く場は必要だと思うので、その点は柔軟に対応したい。
参加者	資料1の3ページ、適正規模・適正配置という中で、学校施設に関しては、統廃合によって、中間地点に新しく建てるという方向ではなく、今あるものを直して使うということを前提に進めていくということか。
事務局	学校施設については、基本的に既存校舎を活用する方針とし、既存校舎については建築後65年を目安にしている。子どもの数が多くて入りきれない、または、既存校舎が建築後65年間近となれば、新築ということも出てくると思う

が、基本的には既存校舎を活用するところから協議検討していく。

事務局

閉会 午後8時00分